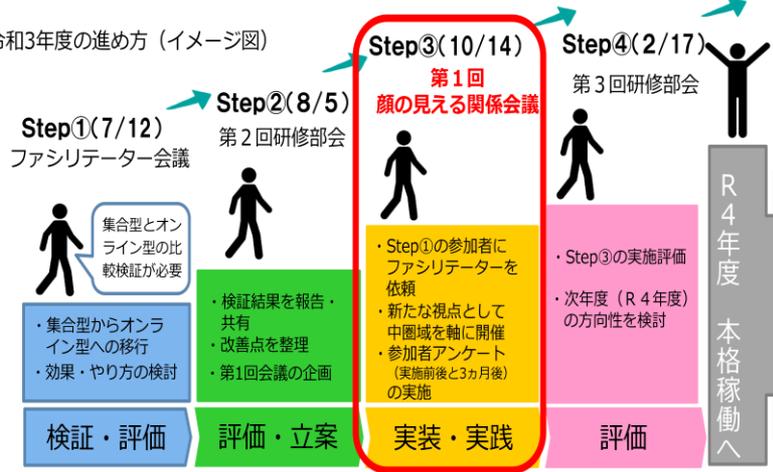


感染症のまん延状況でも開催できる  
**「オンライン」を活用**した形で、なおかつ、  
**多職種連携への効果が得られるか**検証を  
 行いながら、第1回顔の見える関係会議を  
 試行的に開催しました。

■令和3年度の進め方（イメージ図）



○日時：令和3年10月14日（木）午後7時～9時

○参加者 市内の医療職・介護職

○規模 **70名 1グループ5～6名**×12グループ  
 中圏域（身近な連携の単位）を意識したグループ分け

○周知 職能団体を通じて周知

○テーマ：

## 『コロナ禍での多職種連携～明日につながる取り組み～』

○オンラインだからこその工夫：

- ・会議資料・Web会議ルール・Zoom操作説明書等を参加者全員に事前送付，オンラインに不慣れな方を対象に，会議前に**オンラインサポートタイム**を設ける
- ・**アイスブレイクや雑談の時間を重要視**し，工程時間に余裕を持たせる
- ・進行役・書記は，効果検証のためファシリテーター会議に参加している研修部会員やファシリテーター経験者が担当
- ・オンライン上での進行の難しさから，**進行役をサポートする役割『サブ』**役を設ける
- ・書記の負担軽減のために**記録用紙（フォーマット）**の作成



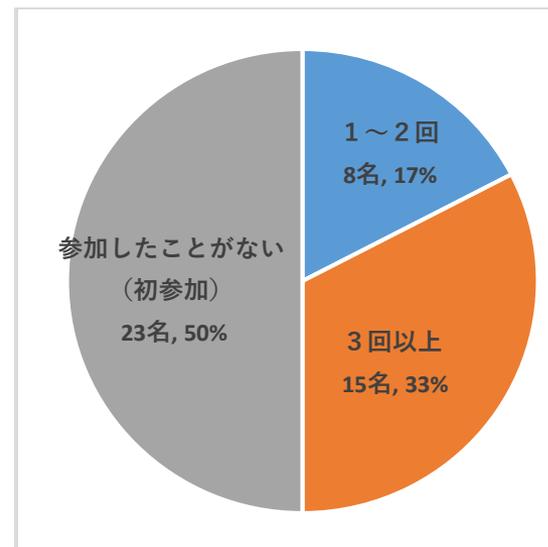
# < 1. 参加者の状況 >

## 参加者数46名 (初参加率50%)

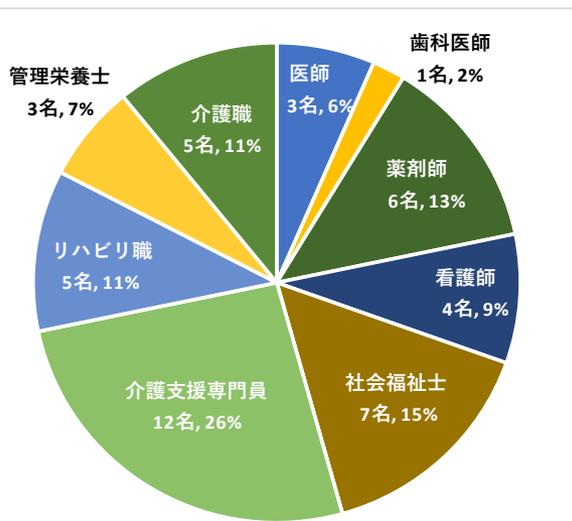
(研修部会員・ファシリテーター経験者24名を除く)

- <特徴>
- 顔会議に初めての参加者が増加
  - 様々な事業所から医療職・介護職が参加
  - 市内全域から万遍なく参加

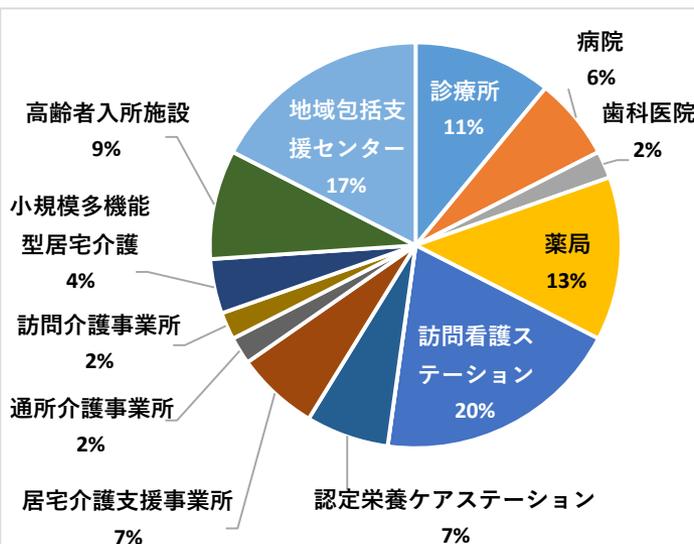
【顔会議参加経験】



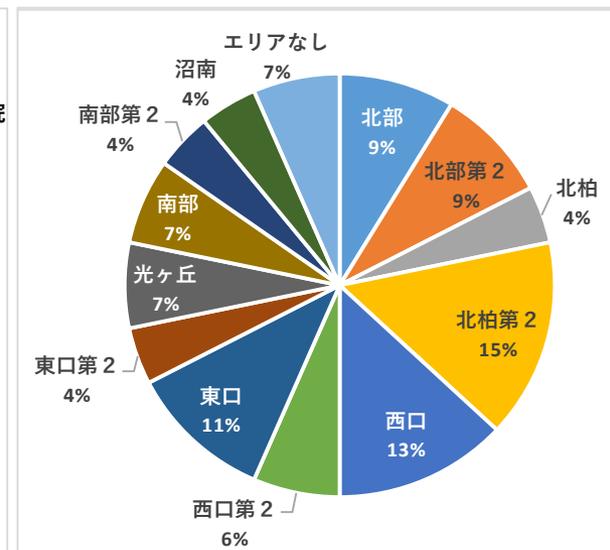
【職種別割合】



【事業所種別割合】



【事業所エリア別割合 (中圏域・包括単位)】



## <2. 評価について>

今年度は、オンライン導入による多職種連携への効果、および

今後オンライン活用の推進につながるか を重点項目として、

参加者を対象に参加前・参加直後・参加3カ月後にアンケート調査を実施して、

意識の変化、具体的な行動変容を確認する。

### <質問項目>

#### ① 今後オンラインを活用した多職種連携の推進につながるか

参加前	<ul style="list-style-type: none"><li>○多職種と連携する時の主な手段は（電話・FAX・メール・訪問、オンライン会議・その他）</li><li>○日頃からオンラインを活用して多職種連携しているか（連携した場面、活用していない理由）</li><li>○オンライン上でも顔を合わせることで対面と同じように他職種と連携しやすくなると思うか</li></ul>
参加直後	<p>顔会議に出席したことで</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○オンラインでも他職種に対し親近感を持つことができたか</li><li>○オンラインを活用して連携してみたいと思ったか</li><li>○オンラインでも対面と同じように他職種と連携しやすくなると思ったか</li></ul>
3カ月後	<ul style="list-style-type: none"><li>○オンラインを活用して連携する機会は増えたか（連携した場面、活用しなかった理由）</li><li>○オンライン会議への参加が、日頃のオンラインを活用し多職種と連携するきっかけとなったか</li></ul>

## ②他職種への理解・連携の評価

★令和元年度の質問項目（コロナ禍での比較）

参加前	<ul style="list-style-type: none"><li>○自分の職種で解決できない時（困った時）の対処方法（事業所内の他職種・事業所外の他職種・同職種に相談など）</li><li>○他職種の仕事内容や役割を理解しているか</li><li>○医療・介護職間の敷居を感じるか★</li><li>○顔会議に参加することで他職種との連携はしやすくなると思うか</li></ul>
参加直後	<p>顔会議に参加して</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○他職種の仕事内容や役割への理解は深まったか★</li><li>○他職種に相談してみようと思ったか★</li><li>○新たに相談したい人（職種）はできたか</li><li>○医療・介護職間の敷居を下げるができると思ったか★</li></ul>
3カ月後	<ul style="list-style-type: none"><li>○他職種との連携したか（他職種に相談したか、相談したいと思うか）</li><li>○新たに相談した人（職種）はいたか</li><li>○顔会議の効果の再確認（他職種の仕事内容・役割の理解、医療・介護職間の敷居の感じ方）</li></ul>

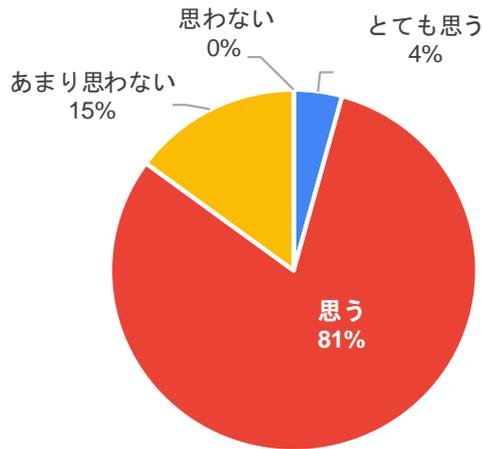
## ③その他

参加前	<ul style="list-style-type: none"><li>○顔会議への参加目的（テーマ、他職種の仕事内容や役割を知りたい、関係構築等）</li></ul>
参加直後	<ul style="list-style-type: none"><li>○顔会議のテーマは、業務に役立つ内容だったか</li><li>○顔会議のテーマとして希望するものは</li></ul>
3カ月後	<ul style="list-style-type: none"><li>○顔会議のテーマは、その後の業務に役立ったか</li></ul>

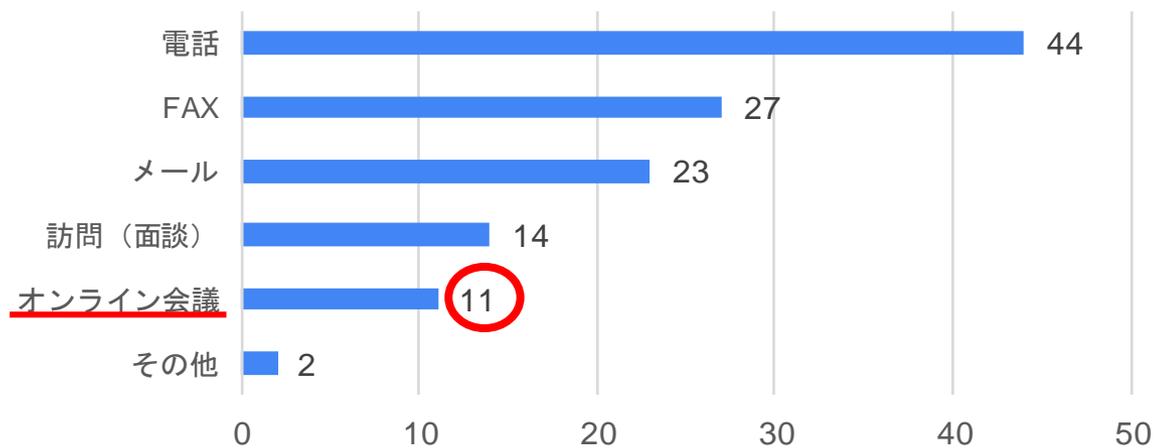
# <結果> 顔会議★評価アンケート（①参加前） \*一部抜粋

対象：研修部会員・ファシリテーター経験者以外の申込者47名（回答率100%） \*当日欠席1名含む  
期間：10月8日～10月13日

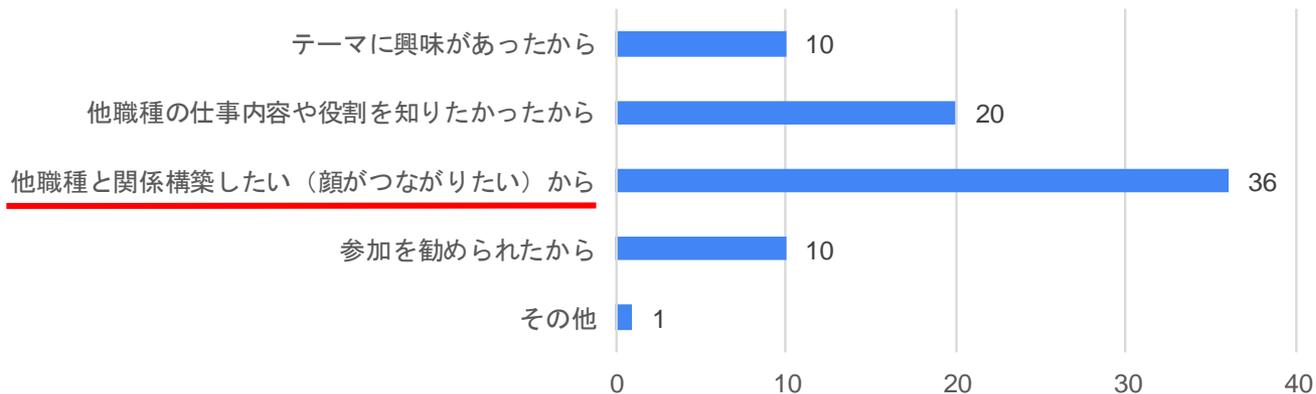
問2 日頃の業務を通じて、他職種の  
仕事内容や役割を理解していると  
思いますか



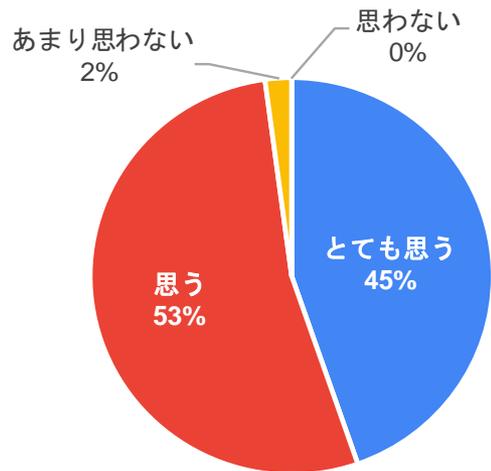
問4 日頃、多職種（同職種含む）と連携する手段（主に3つ）



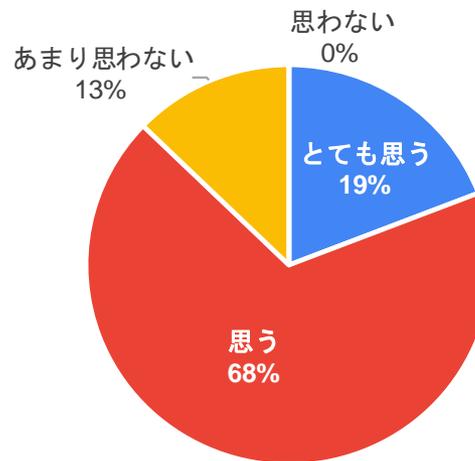
問7 顔の見える関係会議に参加しようと思った目的（主に2つ）



問8 顔会議に参加する（顔を合わせる）ことで、他職種と連携しやすくなると思いますか



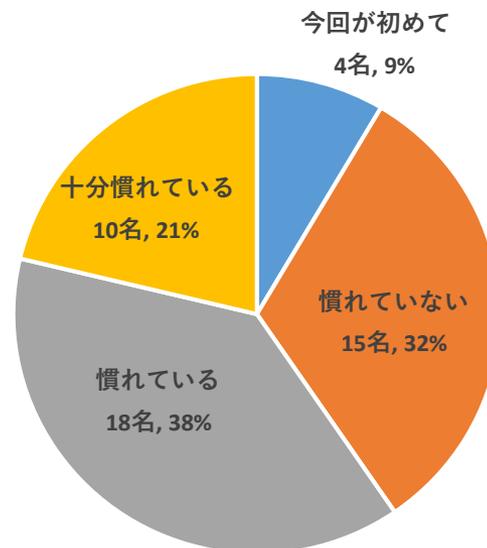
問9 オンライン上でも、顔を合わせることで、対面と同じように、他職種と連携しやすくなると思いますか



問10 オンライングループワークの経験



参考：申込時【オンライン会議参加経験】

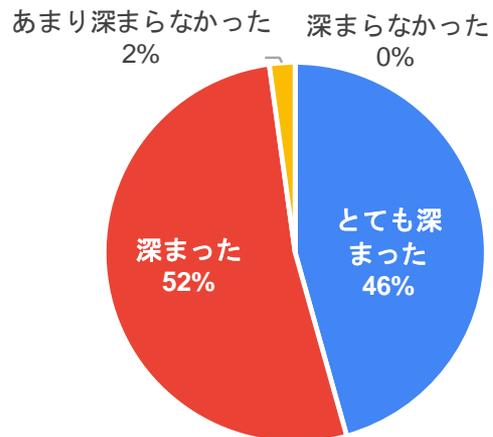


# <結果> 顔会議★評価アンケート（②参加直後） \*一部抜粋

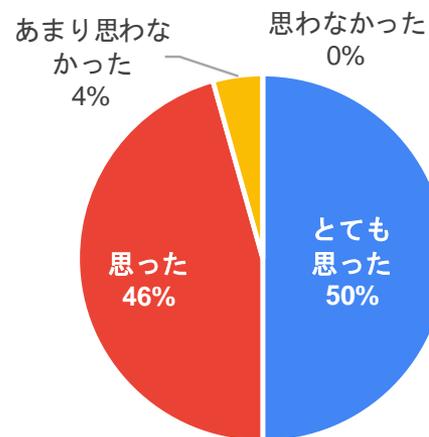
対象：研修部会員・ファシリテーター経験者以外の参加者46名（回答率100%）

期間：会議終了後～10月19日

問3 顔会議に参加したことで、  
他職種の仕事内容や役割への理解  
が深まりましたか



問6 顔会議に参加したことで、  
自分の職種で解決ができない時（困った時）に他職種に相  
談してみようと思いましたか



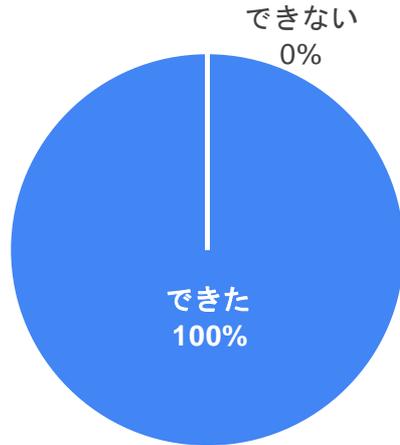
## <問3で「とても深まった」「深まった」と回答した理由>

- ・コロナ禍の悩みは、根っこは同じでも**職種ごとに色々あると改めて気づかされた**（医師）
- ・他職種の苦勞や**重視している視点**を知る事ができた（薬剤師）
- ・どこに困りごとがあるかがわかると、**今後のかかわり方の注意点**になる（看護師）
- ・専門職各々の困りごとや対応策も様々で、**以降の連携で考慮しよう**と思う（ケアマネ）
- ・初めての参加だったが、日頃接する機会のない多職種の方の様子や仕事の内容がわかり、自分の事業所でも**連携できるヒント**が得られた（介護職）

## <問6で「とても思った」「思った」と回答した理由>

- ・仕事内容が少しわかったので、それに関わることで困ったときは**声をかけてみたい**（薬剤師）
- ・自分が持っていない情報を他の職種であれば持っている**可能性**があると感じたため（看護師）
- ・医療職に少し**苦手意識**を感じていたが、今回参加して**イメージが和らいだ**（ケアマネ）

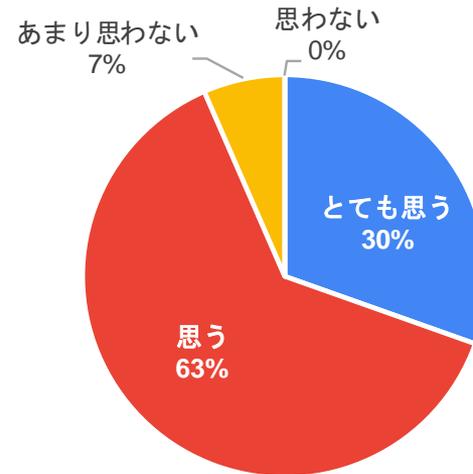
問10 オンライングループワークを通して、他職種に親近感を持つことができましたか



<問10で「できた」と回答した理由>

- ・（オンラインでも）意外に楽しくお話をすることができたため（介護職）
- ・（オンラインでも）会って話しているのとあまり変わらない（薬剤師）
- ・会場に集まる対面より、一人一人の話にしっかりと耳を傾けることができたから（リハ職）
- ・職種もだが、その人個人個人に親近感が持てた（医師）

問12 オンラインでも、対面と同じように、他職種と連携しやすくなると思いますか



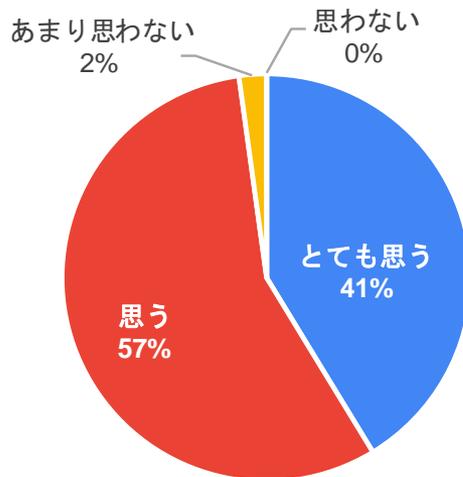
<問12で「とても思う」「思う」と回答した理由>

- ・オンラインの方がゆったりとした雰囲気でお話できる気がする（リハ職）
- ・対面での会話との差をあまり感じなかった（薬剤師）

<問12で「あまり思わない」と回答した理由>

- ・直接顔を合わせる方がはるかに印象に残る（医師）
- ・やはりコミュニケーションの基本は対面すること（ケアマネ）

問14 日頃の業務でも、オンラインを活用して多職種と連携したいと思いましたが



#### <問14で「とても思う」「思う」と回答した理由>

- ・オンラインを用いて情報共有、相談すればより支援の質が高くなると確信したので（薬剤師）
- ・むしろ利用していかなければいけない（介護職）

評価アンケート結果の詳細につきましては、改めまして、職能団体を通じて、ご報告致します。



#### <成果>

- オンラインであっても、多職種連携のきっかけづくり、連携への意識の醸成につながる。
- オンライン会議への参加により、オンライン活用への意識の向上につながる。

意識変化から具体的な行動変容につながったかを③3カ月後アンケートを元に評価を行い、結果につきましては、第3回連携協議会でご報告致します。